

## 【スケジュール】 (変更になることがあります)

8月25日（土）	9時45分 関西空港発 (NH979便。集合は2時間前)	
	12時 北京空港着。バスで張家口市蔚県へむかう。	蔚県泊
26日（日）	蔚州博物館、暖泉鎮観光。	蔚県泊
27日（月）	代王城鎮で植樹。午後、蔚州郷土樹木園で記念植樹、湿地見学。	蔚県泊
28日（火）	飛狐峪見学、樹木園に移植する樹木さがし。蔚州古城見学。	蔚県泊
29日（水）	市場、切り絵の村見学。バスで北京へ。	北京泊
30日（木）	14時20分 北京空港発 (NH980便)	
	18時20分 関西空港着	

### 【利用予定ホテル】

蔚県：蔚県万豪賓館または同等クラス

北京：富驛時尚酒店または同等クラス

### 【食事】朝食5回、昼食5回、夕食5回

#### ●黄土高原スタディツアーとは

緑の地球ネットワーク (GEN) は、1992年、中国山西省大同の黄土高原で緑化協力をはじめました。大同は黄土高原の東北端、北京の西約300kmに位置し、砂漠化の最前線であり、また、風砂の源でもあります。年間降水量が約400mm、その大半が夏に集中し、表土を押し流して深刻な水土流失を引き起こします。

大同の人たちとともに、25年をかけて5,900ha余りに1,890万本近くの木を植え、さらに、中国が熱心に緑化に取り組んだこともあり、大同では新しく植える場所がなくなり、新規の植林は2016年で終了しました。

25年間積み重ねてきた経験を無駄にせず、生かせる場所をさがして、2016年、大同のすぐ東隣の張家口市蔚県で新しく緑化協力をはじめました。蔚県は大同市広靈県に隣接し、気候・土壤の条件は大同とほぼ同じ。歴史を大切にしていて、古いものや文化が残った街並み、人びとの暮らしが懐かしさを感じさせます。県城の旧市街に散在する社寺・史跡や、農村部に多くのこる古堡、打樹花など、みどころはたくさんあります。なにより、植樹の余地がたくさん残っているのが嬉しいところです。

協力2年目を迎え、少しは現地の事情もわかってきました。とはいって、まだまだお付き合いはじまったばかり。誤解と理解を繰り返して関係を築き上げていく現場に立ち会ってやろうという方のご参加を歓迎します。



#### いっぽい植えました！満足顔の記念撮影

上記の趣旨に賛同し、自分の行動に責任を持ち、集団行動ができる、バスでの長時間移動をふくむ旅程にたえうる人というのが最低限の前提です。一般的の観光旅行ではありません。「お客様」ではなく主体的な参加者として、真剣かつ虚心に、何かを得ようという姿勢で参加してください。

#### ●現地の気候は？

黄土高原の8月末は、晩夏から初秋といつてもいい季節です。900m以上と標高が高いので紫外線は強いですが、日陰は涼しく感じられます。帽子などの日よけ対策、気温の変化に対応するためのしっかりした生地の長袖シャツをご用意ください。



はみ出さないように、まっすぐ一列に植える



古い街並を大切に保存しながら暮らす人びと

★関心をお持ちの方は、まずGEN事務所までお気軽にお問い合わせください。連絡先はこの裏にあります。